

第14回大宮区区民会議 会議録

- 1 日 時 平成28年9月23日（金）14時00分～16時00分
- 2 会 場 大宮区役所1階多目的室
- 3 出席者 23名

（委員）16名

花俣淳一会長、池上明彦副会長、横山千恵子副会長
井上恵美子委員、井原武志委員、鵜籠雅之委員、黒澤昭徳委員、小高明美委員、
齋藤泰雄委員、諏訪淳嗣委員、福嶋俊樹委員、星野美子委員、松岡忠男委員、
村上隆子委員、山本英夫委員、若生和子委員

（オブザーバー）1名

田中（副区長）

（事務局）4名

白石（コミュニティ課長）
池羽、土井、加藤（コミュニティ課）

（コンサルタント）2名

森、植田（（株）社会構想研究所）

4 議 事

- （1）開会
- （2）協議事項
第7期区民会議協議テーマについて
- （3）報告事項
区民会議だよりの発行について
区民ふれあいフェアへのブース出展について
- （4）閉会

5 議事内容

川越視察のポイントの絞込み

前回第 13 回区民会議で、大宮の魅力を区外の人に伝え、大宮にくり返し来なくなるしかけづくりを行うためのヒントを得ることを目的に、川越に視察に行くことが決定した。これを受け、川越視察に向けてどういった点に注目して視察をすればよいか、視察のポイントの絞込みを行った。

2 グループに分かれ、川越でどのようなポイントに注目して視察したらよいか協議を行った。協議で出た視察のポイントについて、各委員が 1 人一票で模造紙にポストイットを貼り、投票により視察ポイントの絞込みを行った。

協議で出た視察のポイント

- ◎ 一番街（蔵造りの町並み）・菓子屋横丁・大正浪漫夢通り 【8 票】
- 中央通と蔵造りの街並みとの落差 【2 票】
- 市立博物館・市立美術館 【2 票】
- もっこ館・及びその周辺 【2 票】
- ◆ シルバー人材ガイド 【1 票】
- ◆ 観光バス（市外からのツアーバス等） 【1 票】
 - 憩える場所。（まちなかの休憩スポット）
 - 観光スポットを巡る（回遊）する方法。
 - 川越の食・おいしいもの。
 - 小江戸蔵里
 - 巡回・名所めぐりバス（公共交通）。
 - 自転車シェアリング
 - 人力車

投票の結果、8 票と最も多くの票を集めた「一番街（蔵造りの町並み）・菓子屋横丁・大正浪漫夢通り」を中心に、4 つの視察ルートを事務局にて決定。視察当日に希望するルートに分かれ視察を行っていくことが決定した。

また、視察の行程については、午前 10:00 に大宮区役所をバスで出発、4 班での視察・昼食を経て、午後 2 時に川越市の職員による説明および質疑応答の行われる「やまぶき会館」に集合することとした。

視察の参考として、川越の地域づくりに関する DVD（「平成 22 年度地域づくり総務大臣表彰・特定非営利活動法人 川越蔵の会（埼玉県川越市）」¹）を視聴した後、事前質問の検討として、現地で聞きたいことや、見ておきたい場所や事について、検討をおこなった。

事前質問について

- 大宮区についてどう思うか（川越の人から見た大宮の印象）
- インターネットによる情報提供の仕組みについて（観光情報に関する方針や仕組みなど）
- 商店街の人に話を聞きたい（可能なら蔵の会や一番街商店街の方）
- 川越の魅力づくりのポイント（川越の魅力をどうやってつくってきたのか）
- 長期的スパンでの取り組みの経過・計画（今のような川越にするために、どのような計画で進めてきたのか）
- 来訪者の変化（インバウンドなど）について
- 地元の人たちの外来者への不満（もともと地元で暮らしている人にとって、生活がし難くなったなど、こういった意見が出ているのか）
- 一番街周辺の交通社会実験の結果と今後の方針・展望について
- 蔵里への出品者をどのように集めたのか（蔵里の経緯や運営、市民の理解）
- 計画の実行プロセスについて（行政と民間 キーとなった人・組織は誰なのか。計画を立てても実行できていない自治体は多いと思われるので）
- 旧川越織物市場の活用について

6 報告事項

区民会議だより第 27 号の発行について、9 月末に全戸配布されることが横山副会長より報告があった。10 月 29 日に開催される区民ふれあいフェアにて、DOM 1 階の連絡通路にて開催の「大宮二十景絵画コンクール作品展」の場所に区民会議 PR ブースを併せて設置することが報告された。

次回第 15 回区民会議は、平成 28 年 10 月 20 日（木）、川越視察として開催予定。

¹ 一般社団法人 地域活性化センター